

(様式8)

公共事業終了箇所評価調査

評価確定日(平成24年 9月28日)

Table with project details including code (H24-建-終-01), name (地方街路交付金事業), type (一次改築), location (秋田市飯島), and policy goals (new living circles, street revitalization).

1. 事業の概要

Main summary table with sections: 事業の背景及び目的 (Background and Purpose), 事業期間 (Project Period), 事業規模 (Project Scale), 事業費用の内訳内容及び要因変化 (Breakdown of Project Costs and Factor Changes), 目標達成率 (Target Achievement Rate), 自然環境の変化 (Changes in Natural Environment), 社会経済情勢の変化 (Changes in Socio-economic Conditions), and 事業終了後の問題点及び管理・利用状況 (Issues and Management/Usage After Project Completion).

住民満足度等の状況 (事業終了後)	①満足度を把握した対象 ○ 受益者 ● 一般県民 (時期:平成24年11月~12月) ②満足度把握の方法 ● アンケート調査 ○ 各種委員会及び審議会 ○ ヒアリング ○ インターネット ○ その他の方法 (具体的に) ③満足度の状況 ・本路線の整備に対して、道路利用者で82%、地域住民で88%が「満足」または「やや満足」と回答しており、当該工区の整備は、利用者満足度の高い事業となっている。
上位計画での位置付け	・秋田都市計画区域マスタープラン(H18.5月)において、「おおむね10年以内に整備する路線」として位置付けられている。 ・ふるさと秋田元気創造プランにおける施策「市街地の賑わいを創出する都市機能の強化」の事業となっている。
関連プロジェクト等	特になし
前回評価結果等	●選定または継続 ○改善 ○見直し ○保留又は中止 ①指摘事項 特になし
	②指摘事項への対応 特になし

## 2. 所管課の自己評価

観点	評価の内容(特記事項)	評価結果
有効性	①住民満足度の状況 ●A ○B ○C 当該工区の完成により、道路利用者のほか、地域住民などから、8割以上の利用者から「満足」または「やや満足」という回答を得ている。	○A
	②事業の効果 ○A 達成率100%以上 ●B 達成率80%以上100%未満 ○C 達成率80%未満 当該工区の完成により都市幹線道路としての機能が発現された。	●B ○C
効率性	①事業の経済性の妥当性 ●A ○B ○C 費用対効果(B/C)が1を大きく上回っている。	●A
	②コスト削減の状況 ○A 削減率20%以上 ○B 削減率20%未満 ○C 削減なし	○B ○C
総合評価	○A (妥当性が高い) ●B (概ね妥当である) ○C (妥当性が低い) 本路線と並行している一般国道7号及び13号の混雑が緩和され、二次医療アクセスや地域住民の生活にも密着した重要な路線として、道路利用者や周辺住民から高い満足度が得られたことから、当該事業は概ね妥当であると判断できる。	

## 3. 評価結果の同種事業への反映状況等(対応方針)

今後も事業開始前の予備調査や設計段階での現場の把握、実施・詳細設計における適正な事業費の把握に努め、コスト削減に関しても積極的な取り組みをし、効率的な事業執行を図る。  
 当該工区と同様、道路利用者や沿線住民等から高い満足が得られる事業の実施に努める。

## 4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

## ○総合評価の判定基準

総合評価の区分	判定基準	総合評価
A (妥当性が高い)	全ての観点の評価結果が「A」判定の場合	B
B (概ね妥当である)	「A」判定、「C」判定以外の場合	
C (妥当性が低い)	全ての観点の評価結果が「C」判定の場合	